

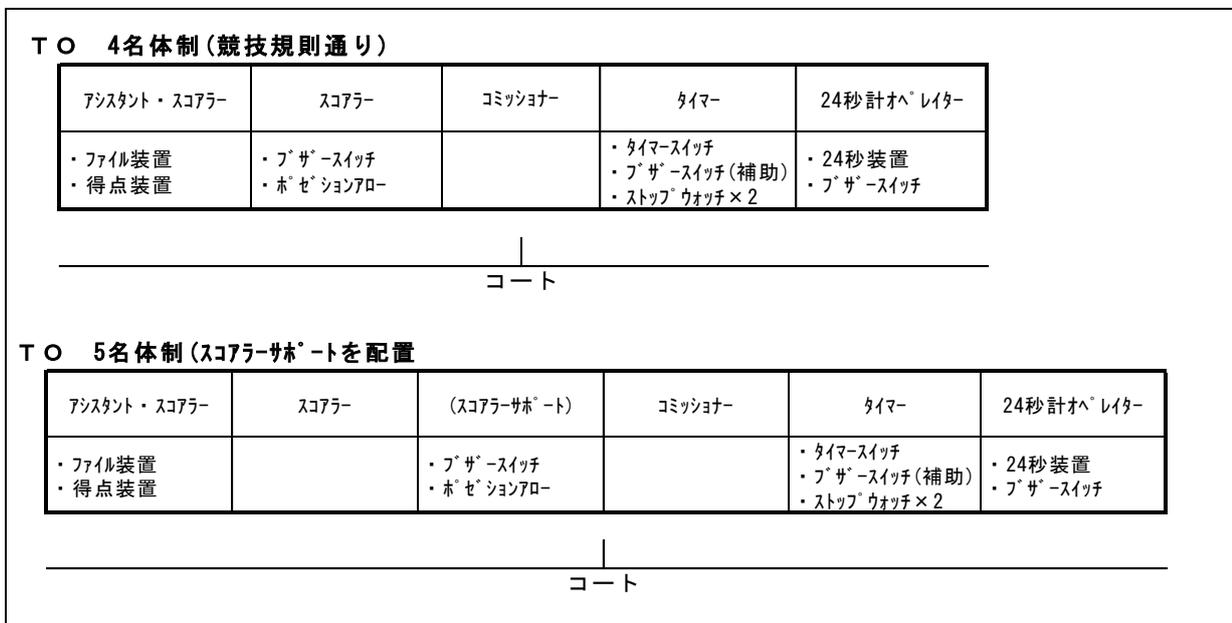
# 2013 オフィシャル・テーブルならびにテーブル・オフィシャルズについて

## 変更点

- 24 秒計オペレーターの呼称が変更  
 新呼称：24 秒計オペレーター  
 旧呼称：24 秒オペレーター
- タイマーの任務において、第 4 ピリオド/各延長時限の残り 2 分での操作が変更  
 新：残り 2 分でボールがリングを通過したらタイマーはゲームクロックを止める。(2:00)  
 旧：残り 2 分を切って(1:59)からであった。

## その他配慮事項

- オフィシャル・テーブルにおける器具の配置と、T O の役割分担は、競技規則/マニュアル通りに器具を配置し、オペレーションするようにする。



- T O は基本 4 名体制でチーム構成し行う。
- やむを得ず、5 名体制で行う場合。  
 スコアラーのサポートとして、ブザー担当を配置するときは、スコアラ-とのコミュニケーションを通常以上にとるようにする。
- 得点の操作は、アシスタント・スコアラ-が操作する。
- タイマーが、時計の操作と得点の両方の操作とならないようにする。
- ファウル記入用紙については、競技規則に明記してありません。個人ファウル/チームファウルの表示を正しく・速やかに表示するようにする。
- 各ピリオド終了間際の 24 秒計の消すタイミングについては、ボールがデッドとなり、時計が止まらない限り消すことができない。消すことができないときは、24 秒を計測する。
- 電光表示板に“→”表示他がある場合でも、その表示はポジション・アローとしては使用しない。オフィシャル・テーブル・センターのポジション・アロー表示のみとする。
- 各チームの交代席については、オフィシャル・テーブルに限りなく近づけて設置する。
- 床置きタイプの 24 秒計表示器具を使用する場合の設置位置は、規則としてサイドラインから 2 m 内側、

エンドラインから2m離す。

※ただし、コート周りに余裕のスペースのない会場においては、必須ではない。

#### その他の注意点（特にミスにつながりやすい例）

##### 1. スコアラー

- (1) スコアシート記入のミスについて
- (2) 個人ファウルの記入において、フリースローが与えられた時の、本数の記入漏れ。  
P<sub>1</sub>・P<sub>2</sub>の“1”“2”など
- (3) 出場した選手の“×”の記入漏れ、出場していない選手に得点の記録がついている。
- (4) スリーポイントの記録において番号に○がない。
- (5) 最終得点の記録欄において、各ピリオドの得点に誤りがある。延長欄の“/”の記入がない。

##### 2. アシスタント・スコアラー

- (1) 個人ファウルの表示において、表示が遅いため、特に、個人ファウルの5回目の審判への伝達が遅くなる。  
※ファウル記録用紙への記入よりも、表示が優先。
- (2) 得点の入力がしばしば遅れる。
- (3) タイムアウトの回数表示がされていないときがある。

##### 3. タイマー

- (1) 時計が正しく、ストップ/スタートされていない。特に、時計が流れるケースがしばしばある。

##### 4. 24秒計オペレーター

時計が正しく、ストップ/リセット/リセット・スタートされていない。

特に、下記のようなミスが起こりやすい。

- (1) チームコントロールが変わっていないのに、リセットされてしまった。
- (2) タイマーが残り24秒を切ったときの操作に誤りがある。  
ボールがデッドでタイマーが止まらないときは、計測を続ける。（止めない、消さない。タイマーが止まったときに消す）
- (3) シュートが、リングに当たった/触れたのにリセットされない。